

# 集え!あなたの色で彩る青春 輝け!私たちの文化部魂



高知県代表生徒としてときょう総文のステージに立つ矢野さんがスクリーンに映る

## 後世に文化部の バトンを繋げよう

郷土芸能部門  
梶原高校 2年 矢野 雄大

本年度の高文祭は、かるぽーとの改修工事のため分散開催となる。このイレギュラーな高文祭に向けて準備してきた生徒実行委員の思いと、ときょう総文視察報告、そして高知農業高校新聞部の取材記事をお届けする。

# 高文連新聞

高文連  
新聞専門部  
発行

1面  
2〜4面  
4面

高文祭によせる思い  
新聞部門最優秀賞校  
ときょう総文報告  
かごしま総文県代表選考

## かごしま総文の 舞台上に立つために

この夏は、東京総文生徒実行委員会視察を兼ね、高知県代表として東京国際フォーラムで行われた総合開会式に参加させていただきました。46年間続いている全国

総文祭の目的として、高校生が各種の芸術活動を通して、芸術文化活動への参加意欲を喚起することとありました。私は舞台上に立ったとき、代表として高知の魅力や伝えようと思っていまいたが、コロナ禍により発言することができず、とても残念でした。だから今年の高文祭の郷土芸能部門で最優秀賞をとり、来年行われる「かごしま

ま総文」の舞台で、私のふるさとに伝わる神楽の文化・伝統・情熱・魅力を発信したいと思えました。そして、高知の魅力を文化部活動で発信できることをより多くの方々に知ってもらいたい、芸術文化活動への参加意欲を高めるための架け橋になりたいらと思えます。この先ずっと後世にわたってバトンを繋げてもらいたいです。

高知県の高校生による文化の祭典、第45回高知県高等学校総合文化祭(高文祭)が高知県立美術館をはじめとする9つの施設において開催されます。テーマは、「集え!あなたの色で彩る青春輝け!私たちの文化部魂」です。このテーマは、今年度に公募された生徒実行委員20名の仲間とともに、全国総文の歴史や文化部生徒の思いを大切にしながら決めました。高知県高等学校文化連盟に加盟する58校、18専門部によって、このテーマのように素晴らしい文化祭となることを願っています。

### かごしま総文出場決定 高知農新聞部最優秀 3年 小松叶和

部員一人ひとりの日々の成果が、私たち高知農業高校は昨年に引き続き最優秀賞を受賞することができました。思い返せば、私たちは1つ上の先輩が引退してからは、1年生のみで新聞を作ってきました。そして、昨年いただいた最優秀賞で自分たちの努力が報われたような思いがしました。これまで和歌山総文、東京総文と全国大会に出場させていただき、大きな成長を得ることができました。全国のさまざまな特色のある新聞を読み、学び、吸収する事ができたのではないかと感じています。ひとつのことを広い視点で捉え、さまざまな表



門田隆将氏の事務所での小松さん

今年、16名で活動してきました。今後は1年生が主体となり、盛り上げてくれると思います。私たちが受け継いできた、高知農業高校新聞部の情熱を絶やすことなく、そして、高知県全体の新聞部が活発になるように願っています。

# 高校生書家を直撃

8月2日、高知農業高校視察班は東京都美術館で開催されている「ときょう総文」書道、写真、美術工芸部門に足を運んだ。偶然、高知県高等学校文化連盟会長である川田弘人先生とお会いして、いっしょに館内を視察した。



高文連会長と高知農業高校新聞部視察班



愛媛の高校生にも想定外の取材

書道部門では、ちょうど作品が展示されている高知県の高校生二人に会い、取材させてもらった。サービース精神旺盛な川田会長の粋な計らいで、愛媛のイケメン書家にも取材できた。

## 岡豊高校 3年 國澤さくら

制作期間は、詳しくはわからないですが、かなりの長期間かけて書きました。1つでも間違えたら「誤字」で作品にはならないため、何度も書き

直しました。そして、全体の流れを意識して書きました。ときょう総文で展示されると知ったときは、自分が総文を目指して書いていたから、とても嬉しかったです。



## 松山東高校 3年 野村晟一郎

夏休み全部使って書き上げました。ときょう総文で飾られると知ったときは、先生への感謝の気持ちでいっぱいでした。それから、夏休みもほとんど書いていたから、達



成感があります。バランスを揃えるのが難しく、2行なら書きやすいが、3行になると一段と難しさが増します。実は、別の作品を書こうと自分で選んできましたが、それは「ださい」と言われ、先生に勧められたものを書きました。

## 土佐女子高校 3年 大野佑梨

合計で7ヶ月かけた作品です。去年の8月から書き始めて、高文祭までの4ヶ月で仕上げました。が、東京では、さらにいいものと思いい、展示するための作品を書き直しました。

自分の作品が選ばれたときは、ずっとやってきてよかった、いままでの成果が実ったと思います。高校では造像記を書き続け、部活動で行うパフォーマンスと並行して、作品制作に取り組みできました。作品のときは最高。上手くできたと思います。

## 編集後記 ~随想~

高文祭がくると、思い出さずにはいられない。2016年、高文祭の会期中に新聞専門部長として活躍されていた北村日和先生が亡くなった、あの悲しい日が思い出されて仕方がない。この時期の月は美しい。「今日は美しい月を見られてよかった」と言っていたのが最後になった。こう総文のために準備を始めた頃、元気印の彼女を病魔が襲った。仕事が好きだった。「新聞」が好きだった。こう総文をやっていたときに、まだ中学生であることを悔しがっていた。コロナのために、こう総文がオンライン開催になったことを彼女は知らない。取材した高校生のみなさん、敬称略を「こ」承ください。

## かごしま総文へ

第45回高知県高等学校総合文化祭において、来夏に鹿児島県で開催される全国高等学校総合文化祭「かごしま総文」への出場推薦が決まる部門は、以下の通りである。

- ※合唱・日本音楽・器楽管弦楽・吹奏楽・郷土芸能・吟詠詩舞・軽音楽は、優秀校を選び次年度の全国高等学校総合文化祭に県代表として推薦する。
- ※美術・書道・写真においては、優秀作品を次年度の全国高等学校総合文化祭に県代表として推薦する。
- ※放送においては、優秀校・個人を次年度の全国高等学校総合文化祭に県代表として推薦する。
- ※自然科学においては、最優秀賞及び優秀賞団体を次年度の全国高等学校総合文化祭に県代表として推薦する。
- ※新聞においては、本年度新聞コンクール最優秀(高知農業高校)・優秀賞(高知追手前高校)・優良賞(高知小津高校)を次年度の全国高等学校総合文化祭に県代表として推薦する。
- ※演劇においては、最優秀校・優秀校を選び、四国大会に県代表として推薦する。
- ※囲碁・将棋・小倉百人一首かるたにおいては、優勝校・個人をその年度に開催される全国高等学校総合文化祭に県代表として推薦する。